

青葉の森から

2015年7月1日発行

みんなのギャラリー



4月～6月の「親子で一緒に森あそび！」



「木の赤ちゃんでつくる森の寄せ植え」・「大人の森あるき」



幼稚園の遠足や小学校の授業

いよいよ夏も本番を迎え、森も緑濃くなりました。茂った木々の葉は優しく日差しを防いでくれますので、あまり日焼けを気にせず遊べます。虫よけ対策をバッチリして森を楽しみにきませんか。

みなさんは“夏”というと、どんなことを思い出すでしょうか。夏休み、セミの声、入道雲、川あそび、花火、盆踊り。…遠い夏の日思い出は、甘酸っぱくも楽しいことばかり。

市街地から車でたった15分の青葉の森で、一生に残る夏の思い出をつくってみてはいかがでしょうか。 (千)

青葉の森緑地の新メンバー紹介！

4月からレンジャーとして加わりました高木章男^{たかぎあきお}と申します。

森の中で遊ぶことが大好きなおじさんです。

青葉の森での出会いと、ふしぎを発見したいと思っています。

そしてみなさんと一緒に楽しめる森にしたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



青葉の森の樹木 針葉樹 “スギ”

さっそくですが、お話ししたいことがあります。

管理センターから500mほど入った場所にせせらぎ広場（写真1）があります。広場にはスギが多くあります。そこに伐採後のスギの切り口がありますが、見たことありますか？

その切り口を観察しました。



写真1

まわりを辺材（白太）と呼び、中を心材（色の濃さなどから赤身）と呼びます（写真2）。辺材の周辺の方にある新しい細胞は生きていますが、毎年外側に新しい細胞ができてくると中のほうがやがて死んでいきます。死んだ後には、細胞としての機能が停止し、取り残された樹液などが変化して、微生物のきれいな樹脂や色素で水の通り道を覆い細菌や水の通りをふさぎます。そのため辺材と比べると虫の害を受けにくく、腐れにくくなっているのです。

辺材よりも心材が腐朽に強いといわれる理由です。強度については場所によりいろいろ違いがあるようです。

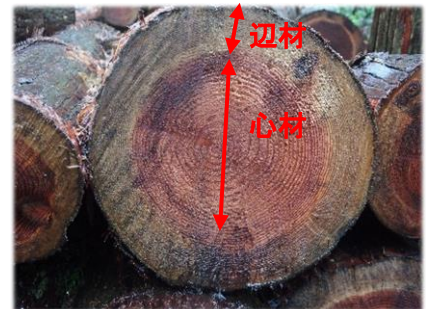


写真2

他の樹木ではモミのように心材と辺材の区別のつきにくいものや、ヒノキのように目立たないものもあります。実際に伐採したあとの切り口を観察すると辺材から多く水分が出ているのがわかります。伐採した木の切り口を見ることがありましたら注目してみてください。(あ)

青葉の森瓦版

☆園内カタクリのみちを整備しましたのでお知らせします。

ぬかるみが多く歩きづらい所がありましたのでスニーカーでも歩けるように木道を整備しました。



急な階段のところを迂回する「ゆっくりコース」を新設しました。従来の急なコース「いそぎコース」として残していますのでご利用ください。





それって本当？



今回ご紹介するのはカタバミです。皆さんのお家の周りでも普通に見ることができると思います。実は、カタバミで黒く汚れた10円玉をみがくとピカピカにすることができます。やったことはありますか？



カタバミ
ハート型の葉っぱが
かわいいですね



葉っぱをぐちゃぐちゃにして
こすってみると・・・。

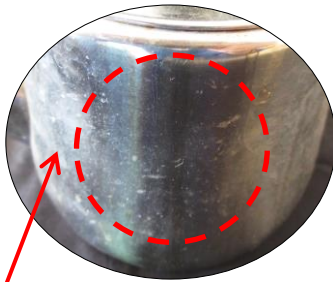


左が汚れている10円玉
右がカタバミでみがいた10円玉
きれいになったのが分かりますか？

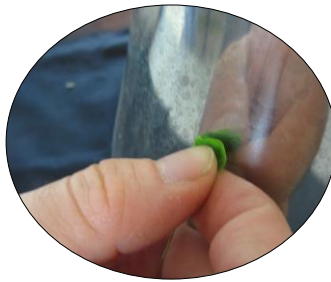


ところで、昔カタバミは遊びなどではなく、^{ぎんしょつき}銀食器や^{しんちゅう}真鍮の仏具をみがくのに大いに役立ったと言われて
います。現代のように便利な洗剤などはなかったですからね。

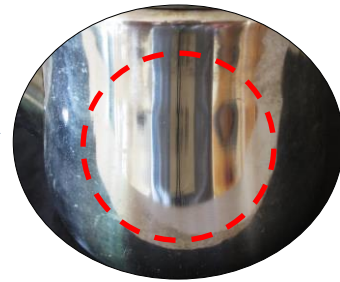
銀食器は管理センターにありませんが、試しにほとんどのご家庭にもあると思われるヤカンをみがいてみ
ることにしました。



レンジャーがお茶を飲むのに
お湯を沸かすヤカンです。ふき
こぼれなどでよごれています。



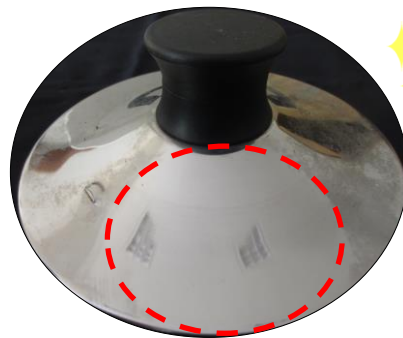
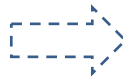
葉っぱを押し付けて軽く
みがくと・・・。



鏡のようになりました(^o^)



点線の中だけカタバミで
こすってみました



ヤカンってこんなに
まぶしいのね！



カタバミでみがいた部分が見事ピカピカになりました！天井が写っています！



現代では様々な掃除用洗剤が開発されていますが、昔の人は自然をうまく利用して生活していたのですね。
葉っぱでみがくだけでこんなにも物をピカピカにできるなんて、カタバミの力ってすごい！

こどものみんなは、家族がお庭で草むしりをしていたらお手伝いをして、カタバミを見つけたら10円玉など
をみがいてみよう。たのしく遊べてお庭もきれいにできて一石二鳥かも？（佐）

夏にオススメ！ 化石の森



管理センターから暑い森の中を歩き、急な階段を下ると眼下に沢の流れがみえ、滝の音が聞こえてきます。マイナスイオンに包まれた「化石の森」は絶好の避暑地。滝の音に聞き惚れていると、すぐ近くに仙台西道路の折立側入口があるなんて信じられないような深山幽谷の気分を味わえます。

散策路のかたわらには、このエリアの目玉である化石の路頭（地層や岩石が、土壌や植生に覆われることなく、直接露出している場所のこと）があり、ここが昔、浅い海の底だったことがわかります。（千）



高温型石英



化石の露頭

「化石の森」に露出している地層の年代は、約400万年前のものといわれています。当時、浅い海だったこの場所には、多くの二枚貝が生息しており、現在、化石となったアカガイや

ハマグリ仲間を含んだ岩石のかけらが沢の中で簡単にみつかります。

また、高温型石英というダイヤモンドのミニチュアのような小粒の鉱物が散らばっており、足元でキラキラ光るのを見ることができます。

約400万年前というと、人類はまだ猿人から分かれたばかりの頃です。泉ヶ岳や七ツ森のあたりは活発な火山だったらしく、涼風の吹く今の化石の森にいて当時のことを想像することは、ちょっと難しいですね。



化石を含んだ地層の上には、大きな岩石を含んだ地層があり、滝つぼを覆うように広がっています。この地層は崩れやすく大変危険なため、**滝には絶対に近づかないで下さい。**

注意！



仙台周辺の地質や化石を紹介したガイドブックや個人の方のブログなどでは「化石の森」での化石採集が紹介されていますが、青葉の森全体は市民みんなの財産であり、草木や生物、岩石の採集・持ち帰りはできないことになっています。化石や鉱物も持ち帰りはもちろん、発掘する行為も公園を傷つけることになるためできません。

また、ガイドブックなどでは「化石の森」へのアクセスとして郷六方面からの入口が紹介されていますが、この入口は公式な入口ではありません。私有地ですので本来の入口である青葉の森の中を通過してご利用下さい。

今後のイベントのお知らせ



親子で一緒に森あそび!

毎月第3土曜日 (7/18, 8/15, 9/19)

対象/4歳以上の未就学児と保護者15名〔先着〕

親子で自然に親しみます。詳しくは市政だよりをご覧ください。

青葉の森の夏の陣～水鉄砲で大合戦!～



日時: 7月25日(土) 午前10時～正午

内容: 水鉄砲をつくり、それを使って遊びます。

対象: 小学生とその保護者 20名〔先着〕

持ち物: 飲み物、帽子、雨具、タオル、着替え、
ぬれてもよい服装

「親子で楽しむこどもBONSAI! 小さな杜の都をつくろう」 (グリーンハウスコラボイベント)



日時: 7月29日(水) 午前10時～11時45分

内容: ケヤキを使った寄せ植えをつくります。

対象: 小学生とその保護者 10組〔先着〕

場所: グリーンハウス勾当台

持ち物: タオル、汚れてもよい服装

草花で描く夏の絵はがき



日時: 8月22日(土) 午前10時～11時半

内容: 草花の汁などで絵はがきをつくります。

対象: 小学生とその保護者 15名〔先着〕

持ち物: 飲み物、帽子、雨具、虫よけ、活動しやすい服装

大人の森歩き「童心に帰って水遊び」編



日時: 8月29日(土) 午前10時～正午

内容: 真夏の沢でのんびりします。やや健脚向き

対象: 大人向け 15名〔先着〕

持ち物: 飲み物、帽子、雨具、虫よけ、歩きやすい靴・服装

ツリークライミング(仮題)



日時: 9月27日(日)

内容、対象、時間など詳細は未定です。9月に発行される市政だよりをご覧ください。

※イベント申込み日については各月の市政だよりをご覧ください。

団体利用のご案内

～ もっと青葉の森を楽しみませんか♪ ～

青葉の森のレンジャーが四季折々の自然をご案内します。少人数からお引き受けいたしますので、お友だち同士、サークル、地域のイベント等でご利用ください。

ご要望に応じて活動の内容は準備させていただきます。料金は無料です。お申込の際には参加される方々の年齢、人数等をお伝え下さい。

また、生活科、総合的な学習の時間などの自然体験学習に関する授業作りのご依頼も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

【 青葉の森管理センター ☎ 022-263-2101 】

『森を安心して楽しむために…』

皆さんが森を利用する上で怖いなぁと思っているものはクマではないでしょうか。青葉の森にいらっしゃる方からも「クマは大丈夫ですか?」とよく聞かれます。でも、棲んでいるわけではないので会うことは珍しいことだと思います。実は自然の中にはクマよりもずっと身近で危険なものがひそんでいます。今回はその一部を紹介します。



クマよりも怖いものがあるよ

まずは感染症になる恐れがある生きもの。いつの間にか体に付いてしまうマダニやツツガムシです。最近ではデング熱を媒介するヒトスジシマカも心配な存在です。



刺されると痛いタケカレハ



ドクガ。毒毛が付くとかゆい!

意外に怖いのが毛虫。「ドクガ」は、直接刺されなくても毒針の毛が付いた葉や服などを触って皮膚に刺さり、ものすごくかゆくなります。服に付いた毛は洗濯しても取れにくいので、その服を着たらまた炎症が起こります。毒針毛が付いた衣類はお気に入りでも処分しなくてはならなくなり痛いです…。

毒があるものといえばハチや毒ヘビ。人によっては命の危険もあるので、スズメバチに刺されたりマムシなどにかまれるよう、十分注意しましょう。

ウルシの仲間など、触るとかぶれる植物もあります。また、カエンタケというキノコは皮膚がただれてしまうようなので、触らないようにしましょう。



ハチが来ても手で払わないで!



マムシを踏まないようにね!



放射状で赤い茎はヤマウルシ



炎のようなカエンタケ

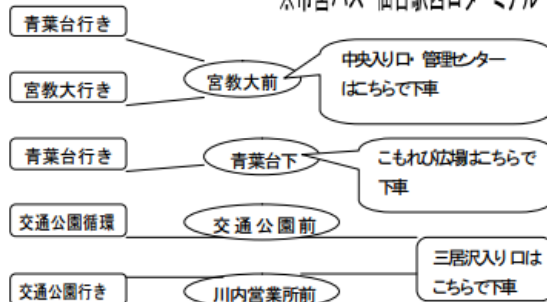
このように身近なところに危険なものがたくさんあり、不安になってしまったかもしれませんが、対処の仕方を間違わなければ大丈夫です。

安心して森を楽しむためには、自然をよく知り危険なものがあることに気付いて、肌を露出しない服装をするなど身を守ることが大切です。(新)

青葉の森緑地 アクセス



※市営バス 仙台駅西口ターミナル



青葉の森 管理センター 開館時間：9：00～16：30

休館日： 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

発行：（公財）仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260 Tel:022-263-2101 Fax:022-263-2102

ホームページ：http://www.sendai-park.or.jp/web/info/aobanomori/

ブログ：http://sendaishi-koenryokuti-kyokai.no-blog.jp/aobanomoriyokuchi/